

RI 2780 地区 茅ヶ崎ロータリークラブ週報

1960年8月10日創立

2014～2015年度

第55代会長 澤邑 重夫

第55代幹事 古知屋光洋



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2015年3月28日(土) 第2666回例会 IM 於:アメリカ海軍航空施設 天候:晴れ No. 35

***茅ヶ崎RC会報は当クラブホームページ [http://www.chigasaki-rc.com] からご覧頂けます

≡本日の例会行事≡

＝6クラブ合同例会＝

◇歌唱「君が代」「奉仕の理想」

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇参加クラブ出席報告

◇新会員紹介

◇米海軍厚木航空施設

司令官挨拶 [ジョン・F・ブッシー大佐]

※合同例会後、IM点鐘



ONE CLUB, ONE ACTION

～人道的支援に今ロータリアンがどう取り組むか～

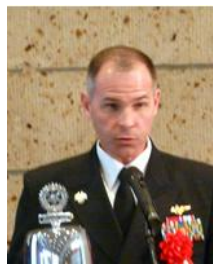
2014-2015年度ゲイリー・C・K ホアン RI 会長は、本年度のテーマを～LIGHT UP ROTARY～「ロータリーに輝きを」と掲げられました。世界 120 万人のロータリアン全員が力を合わせることで世界に光を輝かせることが出来ると説きました。そして当 2780 地区渡辺治夫ガバナーは、～LIGHT UP MYSELF～「自分自身に輝きを」を本年度のテーマに挙げられ、行動方針として、五つの感動(感動、歓働、汗働、貫道、環働)の共有、実践を目標とされました。第4グループの本年度のI・M(インターシティミーティング)の実践に当たり、私は、ロータリー活動の一環としてそれぞれのクラブが、奉仕活動の柱となる～人道的支援にどのように取り組むか～をテーマに、各クラブ会員相互の協力と理解を深め、ガバナー活動方針の五つの感動の共有と実践の目標を達成していただくことを強く期待いたします。ロータリアンの目標と優先事項の戦略計画の下、中核的価値観に従い、人道的奉仕の重点化に各クラブの効果的な取り組みにも大きな期待をいたします。“ONE CLUB, ONE ACTION”非常に重みのあるテーマであります。各クラブが真剣に人道的奉仕に取り組むことがロータリーの推奨する重点項目の一つの公共イメージと認知度の向上に多大に関与することは皆様も周知の事実であります。「ロータリーに輝きを、自分自身に輝きを」実践しようではありませんか!ロータリアンの会員の皆様の大勢のIMへのご参加を心よりお願い申し上げます、挨拶と代えさせていただきます。

RI2780地区第4グループ塚原吉雄ガバナー補佐による開会の挨拶



米海軍厚木航空施設 司令官挨拶

ジョン・F・ブッシー大佐



国際ロータリー2780地区の皆さま
こんにちは。本日は厚木基地によ
うこそお越し下さいました。
米海軍厚木基地で働く軍人、家族、
従業員を代表し皆様を心より歓迎
いたします。

米国で 110 年前に産声を上げたロータリークラブが
時を越え、海を越え、こうして日本の皆さまに支え
られその活動の輪を広げていること、そして本日厚
木基地が皆様の活動を支援させて頂けることをとて
も嬉しく、光栄に思います。

皆様はこの厚木基地の近隣地域で公私にわたり力を
持ち活躍されていらっしゃる方々です。その皆さま
が、ロータリークラブを通して力を合わせ、世界を
舞台に社会奉仕と国際親善に尽力されていらっしゃる
ことに心より敬意を表します。ロータリークラブ
の更なるご発展、会員の皆様お1人お1人の益々
のご健勝をお祈り致しまして歓迎の挨拶とさせて頂
きます。



本年度IMは9年振りに厚木飛行場での開催となりました。主催
である茅ヶ崎中央RCの企画で、炉辺会合を模して飲食をしなが
らの「懇親グループディスカッション」が実施されました。もう
少し議論の時間があると、尚よかったかもしれませんね。

上左) 基調講演は独立行政法人国立国際医療研究セ
ンター国際医療協力局所属の蜂矢正彦様。20 か国
に及ぶ感染症の医療体験をもとに「医療従事者から
見た国際協力」というお話をされた。 上右) 来賓
挨拶をされた海上自衛隊第4航空群司令 海将補・
二川達也様 右) 当クラブより新会員として紹介さ
れた杉本・富田・北村・木村の各会員 下) 左から
佐野英之ガバナーノミニー、田中醫三ガバナーエ
レクト、倉澤条太茅ヶ崎中央RC会長

